

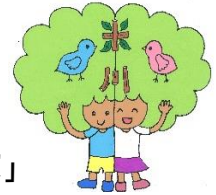
せんだん

岩国市立米川小学校だより

米川小ゆるキャラ
「せんちゃん・だんちゃん」

令和5年度 No.8 12月1日発行

米川小学校長



〈周東町全小中学校教育目標〉

「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成」

継承していくもの

10月下旬に、本校の元校長である上田保明先生が来校されました。懐かしくて立ち寄られたとのことですが、30分の短い時間の中で、当時勤められた平成13・14・15年の学校の様子について話して帰られました。その時話された「夢つつみ」のことについて、学校として継承していかななくてはいけない思いを知りましたので、今日はその話をしようと思います。

「夢つつみ」の設置は周東町と岩国市の合併が実施される経緯の中で上がってきた話で、平成16年に設置されました。遊具購入の話もあったのですが、米川小学校の存在の証として記念碑を残すことで話がまとまったそうです。当時、彫塑で有名であった元中学校長の山本辰昭先生（子どもをモチーフにしたブロンズ作品を日展に出品され入選）にお願いし、「つつみ」を題する像を制作することに決めたそうです。上田先生と山本先生は何度か話をされる中で、像に対する思いを以下のように確認されました。

童が包みを一生懸命に持ち運ぶ姿に、子ども達は大きな夢をもって生きる姿を想像し、夢の実現のために努力し、一心にがんばることの大切さを学んでほしい。また、この米川小学校で過ごされ夢を果たされた卒業生の皆様には、同じ学び舎で共に切磋琢磨した幼少の頃を懐かしんでほしい。名前は「夢つつみ」とする。

今、米川小学校の駐車場横にある花壇の真ん中に、「夢つつみ」の像は建っています。上田先生と話をする中で、「童がけっして軽そうにない包みを両手でしっかり持って、空を仰いでいるのがいいでしょう。」とうれしそうな顔をされたのが、大変印象的でした。あの像が設置され19年がたちますが、米川小学校のシンボルの一つとして、しっかり根付いていることに安堵するとともに、設立当初の思いを知ったからこそ、今の子ども達に継承していかななくてはいけないことの責任に身の引き締まる思いがしました。

これからこの子ども達が、大きな夢を実現していく未来にしっかり向き合えるよう、学校も地域も大きな役割があると確信しています。そのためにやらなければならないことを、共に考え行動に移したいと思います。



12月・1月のおもな行事予定

12月 5日(火)	持久走大会	1月 9日(火)	始業式、給食開始
12日(火)	全校5校時授業 (~15日)	17日(水)	学校保健安全委員会 参観日、CS会議
20・21日	個人懇談会(希望者)	23日(火)	不審者対応防犯学習
22日(金)	終業式、給食終了	25日(木)	なわとび集会Ⅰ
23日(土)	冬季休業(~1/8)	26日(金)	なわとび集会Ⅱ
		31日(水)	一日入学

ふれあいフェスタ



CS委員さんに受付をお願いしました。



今年は4年ぶりに食事を提供することになりました。早朝7時から、CS委員、おやじの会、保護者が集まれ、準備が始まりました。

「しし汁」は学校でとれた白菜、大根、さつまいもが入り、「おむすび」にはたんぼアート後に収穫したお米が使われました。

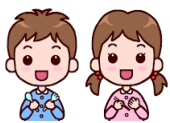


「みんなで遊ぼう」の時間には、学年で趣向をこらした企画が並び、多くの方に遊んでいただきました。子ども達の接客に、そして、夢中になって遊べるゲームに笑顔がこぼれていました。



子ども達が安心して過ごせるように、また、楽しく勉強できるように、多くの場面で協力してくださる地域や保護者の皆様へ、子ども達から感謝の言葉を伝えました。いつもありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひします。

いただきます



すべての日程が終わると、温かいしし汁とおむすびをいただきました。

学校だよりのご意見・ご感想は、いつでもご連絡ください。(米川小：84-0607)